

辺倒ではなく、必要に応じてアナログの良さも残しながら、スマートフォン

デジタル技術の活用が進むことには、より大きな課題も含まれています。

宇宙の起源やブラックホールの謎に迫ったイギリスの物理学者である故スティーブン・ホーキング博士は、「超知能を持つAIの到来は、人類史上、最善の出来事になるか、または最悪の出来事になるだろう」と警鐘を鳴らしています。

こうした中で、ロボットやAIの効率性や利便性を享受しつつ、人間が能力を発揮し、豊かな生活を送る未来を創るためにはどうしたら良いでしょうか。

AIは、今まで無かったものの創造や、高度な価値判断、総合的な意思決定については、人間に取って代わるこ



協力店に掲示されるステッカー

すべての方の外出を促進するためには、日常生活において不可欠な存在であるトイレをいつでもどこでも安心して利用できる環境を整えていくことが重要です。

とは難しいと言われています。このことから、我々は、自主性や自立性、感受性、倫理観などを育み、人間として独自の思考力や想像力を発揮することが重要になります。

本市では、「図書館城下町」を旗印に掲げ、文化創造拠点シリウス内の図書館、中央林間図書館、渋谷図書館による図書館3館体制の確立、公共施設や市内全駅、商業施設への図書返却ポストの設置などにより、全世代の市民が読書に親しむことができる環境を整えています。

がらご活用いただけるよう、併せて適正利用の啓発にも努めてまいります。

本市は、ひきこもりの状態にある方やその家族を支援するため、令和元年10月に「こもりびと支援窓口」を開設し、専任の「こもりびとコーディネーター」による相談支援を行っております。

2 一人ひとりがささえの手を実感できるまち

二番目の基本目標は、「一人ひとりがささえの手を実感できるまち」でございます。

「人生100年時代」の本格的な到来に向け、おひとりさまも含めた高齢の方に充実した生活を送っていただくためには、日々の暮らしを安心して過ごせる環境の整備がますます重要になる

財政運営に関しましては、低金利のメリットを最大限生かし、明日の大和市を見据え、積極的に投資をし、街づくりを進めてまいりました。

令和4年度につきましては、新型コロナウイルスの影響による税収の回復の遅れが懸念されましたが、市税の総額は、コロナ禍前の令和元年度決算の水準まで回復する見込みとなりました。

とり暮らしで心臓病などの疾患がある方などを対象に、ボタン一つでコールセンターにつながる緊急通報用の機器や、生活の動きを感じしない場合に自動で通報する人感センサーなどを組み合わせたシステムを貸与し、利用者を

1 いつまでも元気でいられるまち

最初の基本目標は、「いつまでも元気でいられるまち」でございます。

本市では、急病などにより救急車を呼んだ際、持病やお薬、かかりつけの医療機関などの情報を説明できない状況においても、適切な救急医療を受けられるよう、救急医療情報キットを無償で配布しております。



認知症の総合相談窓口「認知症灯台」

に展開してまいりました。認知症の方の数は、令和2年に、全国で600万人を超えたとされており、これに基づくと、本市では昨年4月時点で1万人を超えたと推計されます。